

一般社団法人国際介護人材育成事業団

## 2019年度 第1回理事会議事録

日時：2019年6月22日（土）14時50分～16時50分

会場：パルシステム生活協同組合連合会2階 第2会議室

出席者：(理事) 金澤 剛 福本京子 小沼正昭 上野 歩 江口 幸一 小國 英夫  
佐藤 健二

(監事) 石原 温 松本 典丈

参会者：(オブザーバー)

中島 早紀 網野 拓男 宮崎 美紀 宮本 信 池尻 久美子 前川 直 松下 智子  
大西 岩光 甲川 由見子 宮脇 棟次郎 佐藤 和夫、佐藤 高之 戌亥 友孝  
中込 敏 中込 節子 長谷川 英世 石橋 剛 小林 義則 橋口 信一郎 苗 健  
アウン コーラット

配布書類：理事会の議案書（事前配布資料）、同（当日配布資料）、同（当日配布資料②）

### ○招集と定足数

金澤理事長より、6月14日、定款35条1項に基づき、2019年度第1回理事会を招集したこと、又、14時50分現在、理事総数の過半数以上の理事7名全員が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

### ○審議事項

#### 1. 第1号議案 2019年度理事会運営について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した、又、10月19日開催の第2回理事会の会場を社会福祉法人浩照会とすることを確認した。

#### 2. 第2号議案 役員（理事）の報酬額の決定の件

議長は、福本理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。

#### 3. 第3号議案 実習生の借金問題と今後の取り扱いについて

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（当日配布資料②）に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決し

た。

質疑にあたり、小沼専務理事が、先ず、当日、午前中に開催した、三者協議の報告の報告を行った。その後、質疑を行い、以下のような意見をいただいた。

- ・「1円=11チャット」問題、為替問題に関し、改めて質問と意見があった。
- ・三者協議「合意書」の2項、実習生一人につき、4万円の特別修学金を支払い方法について、幾つかの懸念が指摘され、送り出し機関と当事業団事務局とが協議し、決定することを確認した。

又、今後の借金の返済額については、複数の受入施設から、実習生が出来るだけ早い借金の返済を望んでいることが報告された。又、4万円以上とする意見も出された。

各施設が、今後の手取り賃金のシミュレーションを提示し、実習生が計画的に、無理なく実習や研修に専念できる返済額とすること応援して行くことが大切だと意見があった。

- ・最後に、今後の日本語費用、管理費等は、「外国人技能実習制度における講習手当、賃金及び管理費等に関するガイドライン」（JITCO編）やその他の公的な基準に基づいて十分に協議し、決定していくことを確認した。

#### 4. 第4号議案 ミャンマーからの第2期生の受入人数の集約と今後について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（当日配布資料）の一部を改め、第2期生の受入希望人数を下記の7法人、26名に修正し、第4号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、受入人数の集約について、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。但し、今後の進め方は、送り出し機関が、7月の日本語能力試験の結果を踏まえ、日本語要件（N3相当以上）の達成の目途が立て、その上で、改めて協議することに留めた。

NO	申込日	受入法人	受入事業所	男	女	小計	合計
1	2019年6月11日	社会福祉法人京都南山城会	山城ぬくもりの里	0	2	2	8
2			涌出ぬくもりの里	0	2	2	
3			西木津ぬくもりの里	0	2	2	
4			加茂ぬくもりの里	0	2	2	
5	2019年6月11日	社会福祉法人ぱる	いきいきタウンとだ	0	2	2	4
6			いきいきタウンのだ	0	2	2	
7	2019年6月13日	医療法人聖恵会	福岡聖恵病院	0	2	2	2
8	2019年6月19日	パルシステム東京	デイサービスセンター東雲陽だまり	0	1	1	2
9			デイサービスセンター第二中野陽だまり	0	1	1	
10	2019年6月19日	社会福祉法人ファミリー	特別養護老人ホーム ハピネスあだち	0	2	2	4
11			特別養護老人ホーム ハピネス昭和の森	0	2	2	
12	2019年6月19日	社会福祉法人寿量会	特別養護老人ホーム天寿園	0	2	2	2
13	2019年6月22日	医療法人燦正会		0	4	4	4
計				0	26	26	26

又、議長は、一般報告の「ミャンマーからの介護人材の今後の受入に」と合わせて、質疑することを指示し、質疑を行い、以下のような意見を頂いた。

- ・基本的にはN3である。
- ・N4で入国する希望が増える懸念があり、N3の明確なインセンティブも必要ではないか。

- ・実習生を送り出せるタイミングに合わせて、施設側は、実習生受入計画を立てざるを得ない。送り出し機関が、計画的な人材の確保と教育を実施し、その目途やサイクルを明らかにしてもらいたい、との意見があった。
- ・又、かかる費用の問題、自組織における教育能力の問題などにより N4 でも受け入れるとの意見もあった。この場合、就労する実習生や介護現場の職員の負担を小さくするために、ブロック単位で、公的な補助も活用しながら、日本語教育支援を組み立てられないか？との意見があった。

#### ○一般報告

主に、前回からの継続論議である、「①新たな役員体制に向けた諸準備②事業団の情報共有と発信について」と中国の取り組みについて、以下のことを確認した。

- ・次期の役員改選を念頭に入れた、留学生、特定技能などの新規事業の担当や教育担当、広報担当の設置と担当者的人選は、理事長が起案し、今後のブロック会議に検討してもらい、次回の第 2 回理事会（10 月）に報告できるようにすることを確認した。

但し、Facebook、ホームページなど使った広報活動は、小沼専務が担当して企画して実行していくこと、実習実施者の情報共有と発信のためにグループの Facebook を立ち上げることを確認した。今後、この実現に向けて、登録ライターの人選などを要請していくことも確認した。

- ・中国については、介護技能実習生候補者 2 名の補充と 10 名程度の追加募集、日本語教育の内部化、給与待遇面のガイドラインの撤廃等が報告され、改めて追加募集が行われた。又、留学に軸心を映した、募集を行う方向を確認した。

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16 時 50 分 に閉会を宣言して散会した。  
以上、相違ありません。

2019 年 6 月 22 日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛      理事 福本 京子      理事 小沼 正昭      理事 江口 幸

理事 小國 英夫      理事 佐藤 健二

監事 石原 温      監事 松本 典丈

以上